

第1回あわらし行政改革等推進委員会会議録（要旨）

- 1 日 時 平成29年1月12日(木) 13:30～16:45
- 2 場 所 あわらし役所202会議室
- 3 議 題 ・行政評価（施策）の外部評価
- 4 資 料 ・平成28年度施策評価シート
- 5 出席者 委員：桑原美香、冨田毅矩男、伊藤和幸、高橋範博、佐孝修彦、牧田きさ代、大宮健司

市：前川善弘（副市長）、佐藤雅美（総務部長）、平井俊宏（財政部長）、城戸橋政雄（市民福祉部長）、川西範康（経済産業部長）、塚田倫一（市民福祉部理事）、小林昭彦（市民課長）、内田由一（福祉課長）、大代典子（子育て支援課長）、松永都美（健康長寿課長）、糠見敏弘（教育総務課長）、笹井和弥（文化学習課長）、青池憲恭（スポーツ課長）、杉本季佳（観光商工課長）、中嶋浩和（農林水産課長補佐）、小嶋範久（政策課長）、山口功治（政策課長補佐）、赤神貴幸（政策課主査）

6 会 議

- ・委員の出席状況の報告（伊藤委員が所要のため欠席）
- ・会長あいさつ
- ・議事

会長 第2次あわらし行政改革大綱実施計画実施状況について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （第2次あわらし行政改革大綱実施計画及び第2次あわらし行政改革大綱実施計画実施状況に基づき、25年度から26年度にかけて変更のあった項目を中心に概要説明と実施状況報告）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

質問なし

※以下の議事録において、施策番号は【 】、事務事業番号は〈 〉で表記する。

会長 続いて平成28年度行政評価に係る外部評価に移らせていただく。これに関し事務局の説明をお願いします。

事務局 （行政評価シートの見方及び外部評価の説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 施策構成事務事業のランクは何を根拠としているのか。

事務局 各事業の担当課において一次評価を行っており、その評価結果をランクで表示している。必要性、公平性、有効性、効率性、独自性の5項目で各2点、計10点満点で評価してい

る。Aランクが7～10点、Bランクが4～6点、Cランクが2～3点、Dランクが0～1点である。

会長 それでは日程表に従い、【1】環境との共生から順に進めたい。【1】環境との共生について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【1】環境との共生の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

会長 エコ市民会議のイベントには参加者が多く来ているとのことだが、参加者と会員数との違いは何か。

市民福祉部理事 企画や運営を行うのが、会員である。人を引き付ける事業展開が必要である。

委員 大学生や高校生の会員はいるのか。また、入れるのか。

市民福祉部理事 会員となることはできるが、実際にはいない。

委員 クリーンアップ大作戦について、区が実施しているものはあるのか。

市民福祉部理事 区単位で実施している。

委員 会員数が伸び悩んでいるとのことだが、区からエコ市民会議会員を推薦してもらおう働きかけはできないのか。

市民福祉部理事 なかなか難しい。

会長 理科の先生などの専門家などが会員となれば、事業も発展していくのではないか。

市民福祉部理事 人のつながりが乏しい状況で、なかなか広がっていかない。

委員 グリーンカーテンコンテストを行っているが、世話が大変なこともある。その他の手法により目標を達成することもできる。内輪で盛り上がっているだけのように感じて、エコ市民会議の活動が見えてこない。会員になればどんなメリットがあるかがわからない。

市民福祉部理事 グリーンカーテンコンテストは環境展で審査結果を発表している。ゴーヤの使い方が理解できるなどのメリットはある。

会長 後期基本計画スタートから5年経ち、情勢や背景も変わっていると思う。絶えず、見直しを図ることに努め、事業を遂行されたい。

委員 出前講座はどのような人を対象に行っているのか。

市民福祉部理事 学校、老人会、放課後子どもクラブなどを対象に実施している。

会長 【2】環境の保全について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【2】環境の保全の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 土砂採取は、隈なくチェックしているのか。

市民福祉部理事 県、地元と連携し、検査を実施している。ひとつひとつの廃棄物をチェックしているわけではないが、現在のところ特に問題はない。

委員 大規模な土地開発の認可についてはどうなっているのか。

市民福祉部理事 土砂採取後は採取事業者が緑化まで行うこととなっている。許認可関係は県の管轄であるため、市において規制することは困難である。

委員 <8>廃棄物の不法投棄対策と空地の適正管理について、連絡協議会坂井支部とは何か。

市民福祉部理事 坂井健康福祉センターを事務局として、あわら市・坂井市・警察・森林組合等の代表者を会員として構成している。

会長 間伐面積は上げていきたいのか。

部長 間伐面積は大幅に増えており、今後も増やしていきたい。間伐材はバイオマスエネルギーの燃料等にも活用している。

会長 【3】循環型社会の構築について、事務局の説明をお願いする。

事務局 （【3】循環型社会の構築の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 ごみの分別の意味が分からない。最終的に笹岡に行き、まとめて捨てているだけのよう
に思われる。また、風力発電について、落雷による故障などが頻発しているが、地元住民への
配慮などはどうなっているのか。

市民福祉部理事 まとめて燃やしているわけではなく、リサイクルに回せるものについては、
回している。

部長 風力発電については、民間業者が設置しているものであり、市として呼びかけることは
していない。ただし、安全対策の徹底については事業者に対して要請している。

会長 し尿・汚泥の適正な処理について、事業費が大きいなぜか。

市民福祉部理事 清掃センターの機関改良を行っていたため事業費が大きくなっている。今年
度で終了するため、来年度以降は多くならない。

会長 【4】保健医療の充実について、事務局の説明をお願いする。

事務局 （【4】保健医療の充実の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 子宮頸がんの予防接種の副作用についてどう考えているか。

部長 副作用の問題が明らかになって以降、厚生労働省および自治体において積極的な予防接
種の推進は行っていない。

委員 肝炎への対策はどのようになっているのか。

委員 C型肝炎を完治する薬が発売されたため、これ以上に感染が拡大することはないと考
えている。B型肝炎は、平成28年4月2日以降に生まれた子どもからワクチンの接種が行われて
いる。ただし、すでに成年になっている方については防ぎようがなく、発症しなくともウイル

スを媒介することがあるため、啓発していく必要がある。

委員 健康診断受診者の数がほとんど変わっていないが、なぜ増えないのか。

部長 国民健康保険加入者は高齢者が多く、日常的に通院しているため、改めて健診を受けようとしにくい傾向がある。健康診断を受ける必要がないと考えている方に絞って受診を勧める必要がある。

委員 全国の自治体の中で、受診率が高いモデル地域はないのか。

部長 医療機関が少なく、不便な地域の方が受診率は高い傾向がある。日頃通院する機会が多い人は、日頃の通院で健康管理ができていると思込む。

会長 健康診断を業務時間中に行うなど、企業との連携はできないのか。

部長 中小零細企業は会社での集団検診を行っていない場合が多く、市民健診を受けることになるため、それらの企業と調整する必要がある。日曜日も健診を行っているが、より一層の周知が必要である。

会長 子どもの健診について、広報などで一斉周知する以外に、個別に案内はしていないのか。

子育て支援課長 個別に案内している。

会長 虐待など、健診することによって見えてくるものはあるのか。

子育て支援課長 保健師や母子生活改善委員が、虐待の兆候などがないか注意して赤ちゃんとお母さんの様子を見ている。

部長 新たな取り組みとして、子育て世代包括支援センターを平成28年度から立ち上げた。妊娠から出産、子育てまで、一貫してサポートしていく。

会長 【5】健康づくり活動の実践について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【5】健康づくり活動の実践の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 おばあちゃんの味の普及推進を強化されたい。

子育て支援課長 毎月25日をおばあちゃんの日に定め、こども園や子育て支援センターなど幅広く取り組んでいる。

委員 子育て支援センターの評判がよい。

子育て支援課長 子育て支援の充実を、住みたくなるまちづくりの柱に掲げられるよう精進していきたい。

会長 【6】地域福祉の推進と災害支援について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【6】地域福祉の推進と災害支援の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 災害ボランティアで事故があった場合の保険体制はどうなっているのか。また、地域の

つながりが希薄になってきているというが、どのような対策をとっているのか。

部長 ボランティアの事故はふれあい保険で対応している。社会参加に対する支援が充実してきている。市としても、積極的にコミュニケーションの輪に入っていただくことを推進していきたい。また、孤立しがちな障がい者・認知症患者を持つ家族への支援も強化していきたい。

委員 民生委員の担い手がないと聞いている。民生委員との連携や支援はどうなっているのか。

部長 厚生労働省あてに推薦する際に、各区長から協力を得ている。3年任期である。旧金津町・旧芦原町で東部・西部に分け、その上に連合会を設置している。活動の補助金や国からの報償もあるが、額は少なく、ほぼボランティアである。

会長 【7】高齢者福祉の充実について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【7】高齢者福祉の充実の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 金津雲雀ヶ寮について、新しくできた建物は徘徊者が出ていくのを防ぐためかエレベータに暗証番号を入力しないと動かないと聞いたが、このような状況で非常時に迅速に避難できるのか。また、職員の負担が大きく、リハビリ等に手が回らないというが、これでは高齢者をただ閉じ込めているだけではないのか。

理事 非常時にはエレベータは使わず、2階の非常口から避難していただく。また、職員の非常訓練を実施し、入居者に対しても啓発に努めている。

部長 社会福祉協議会に指定管理を依頼しているが、委員指摘の問題については市から指定管理者に指導している。

会長 行政評価委員会の意見にある「民間企業の連携」は具体的にどのようなものがあるか。

健康長寿課長 郵便局などと協定を締結し、見守り活動を行っている。

会長 【8】障害者福祉の充実について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【8】障害者福祉の充実の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 市の障害者の採用はどのようになっているのか。

総務部長 現在は、特別に障害者枠というものは設けていない。一般の人と同様に試験を受けることはできる。将来的には検討していかなければならないと考えている。

市民福祉部長 今後の指定管理の際に、障害者枠を設けるよう検討したい。

委員 重い心身障害者の数は把握しているのか。

福祉課長 障害者手帳の発行数などで大方の人数を把握することは可能である。

部長 今後の問題としては、障害者の親が高齢化し、本人の面倒を見れなくなった場合の対策が必要である。

会長 障害者にケアマネージャーをつけアドバイスを受けられる取組みはされているのか。

福祉課長 している。坂井市と連携し、協議会を立ち上げている。

会長 かつては、地域活動支援センターでそのサービスを行っていたのか。

部長 そのとおりである。昨年度は235人の利用があった。

委員 障害者スポーツ大会は市独自でやらないのか。坂井市ではやっている。

部長 市独自ではやっていない。県の障害者スポーツ大会等はバスを出す際に補助金を出している。

会長 【9】 児童福祉の充実について、事務局の説明をお願いする。

事務局 （【9】 児童福祉の充実の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

会長 外部講師の数や出前講座の参加人数が増えているが、何か手厚い施しをされたのか。

子育て支援課長 出前講座の回数を増やしたためだと考えられる。また、外部講師を招いた講座については、対象年齢を下げたことなどに起因する。

部長 必要性が伸びてこないのは、法的に実施を義務付けられている施策が少ないためである。ご理解いただきたい。

会長 【10】 社会保障制度の充実について、事務局の説明をお願いする。

事務局 （【10】 社会保障制度の充実の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 〈74〉生活困窮世帯への支援について、平成28年度の事業費が急激に増加しているのはなぜか。

福祉課長 平成28年度当初予算の事業費見込みであり、扶助費の性質上、高めに見込んでいる。

実績は、平成27年度並み又はそれ以下となる見込みである。

会長 【24】 安心なまちづくりの推進について、事務局の説明をお願いする。

事務局 （【24】 安心なまちづくりの推進の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 防犯隊が何をしているのかわからない。年末警戒しか見えてこない。

総務部長 行方不明者の捜索や非常時の出動を行っているが、まだまだ周知が足りないようにも思う。今後は、広報面を強化していきたい。

委員 国道305号線沿いの北の庄やレイクサイド湖畔など、不審者が滞在しそうな廃虚施設を行

政執行できないのか。

部長 民間施設につき、行政が立ち入ることは難しいが、警察と連携を図りながら、市民の安全安心を守る措置を講じていきたい。空き家の調査は行っているが、今後は空き店舗等の調査も必要だと考えている。

会長 【25】 農業の振興について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【25】 農業の振興の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 <164>地場農産物の販売促進の指標であるきららの丘の販売額が伸びている原因はなぜか。

部長 観光施設の要素も備えているため、北陸新幹線金沢開業の影響による入込増加が大きな要因である。

委員 イノシシ被害の増加も心配である。

副市長 有害鳥獣対策は、1年2年で成果が表れるものではなく、20年30年スパンで考えて取り組んでいかなければならない。その意味では、後継者不足は深刻な問題である。銃や縄の免許を持つ若者も少ないことから、対策を検討しなければならない。

会長 【26】 林業の振興について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【26】 林業の振興の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 事務事業評価シート13と169の間伐面積どっちが正しい？（要確認）

会長 【27】 漁業の振興について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【27】 漁業の振興の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 ウナギが増えているのか。

部長 塩水化が進んでいるため増えていると思われる。逆に、寒ブナは減っていくものと思われる。

会長 【28】 工業の振興について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【28】 工業の振興の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 新たな工業団地とはどのようなところか。

部長 菅野、熊坂などである。

会長 売却額はどちらの会計に入るのか。

部長 特別会計である。

会長 【29】商業の振興について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【29】商業の振興の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 JR芦原温泉駅前に人が全くいない。aキューブでも何をしているのか見えてこない。

花できれいなまちづくりもよいことだが、トイレが汚い方が人の印象に残ってしまう。

部長 駅前には店舗型住宅が多いため、仮に第三者が営業をやりたい意向があっても所有者の合意が得られにくい状況である。aキューブの利活用も含め、北陸新幹線県内延伸までに賑わい創出が実現できるよう、地元や関係機関と協議しながら取り組んでいきたい。

トイレについては、議会等でも指摘されている。観光商工課で管理している駅前の公衆トイレについては、今後掃除の回数を増やすなど検討していきたい。また、街中にトイレが少ないという意見もあるため、その点についても改善していきたい。

観光商工課長 28年度以降はトイレの改修も含めた既存施設の改修を中心に行っている。芦原温泉駅前のトイレは、ロータリー改修時に取り壊す予定。

会長 【30】雇用環境の充実について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【30】雇用環境の充実の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 旅館や観光事業所への地元雇用について、ここ2～3年で坂井高校から就職される方が減ってきている。これは、安定的な職場に就きたい学生の思いが如実に出ているものと思われるが、行政からの働きかけで地元雇用が進むよう推進されたい。

観光商工課長 坂井高校になり、進学率が上昇したこともあり、高校生の就職者が減少している。高校生と企業とのマッチングや、保護者の地元企業への理解を深めてもらう取組みをはじめの協議を行っている。

部長 旅客業の事業所にも声をかけていく。また、高校生は先生の指導の影響力が大きいため、先生に地元企業の照会を依頼していく。

会長 【31】観光の振興について、事務局の説明をお願いします。

事務局 （【31】観光の振興の施策シートの説明）

会長 ただ今の事務局の説明に対し意見や質問はないか。

委員 観光マイスターを取得したが、その後何も生かされない。また、他市町ではキャラクターが確立されていて、キャラクターを見れば〇〇市だと分かるようになっている。今春福井

一大野間の道路が完成し、永平寺が注目されているが、それを活かす観光PRはできないのか。

観光商工課長 ゆるキャラについては、あわら湯けむり創生塾が運営する湯巡権三が徐々に知名度を上げ定着してきている。市内観光地については、磨き上げが不十分な部分があり、あわら温泉の宿泊客は東尋坊や恐竜博物館などに遊びに行っている。他市の観光地への二次交通については、計画づくりを進めているところである。旅館でのカーシェアなどの交通面での改善を図っていく。また、越前加賀インバウンド推進機構など、自治体連携で広域で取り組む観光誘客も検討している。

会長 観光ガイドの育成や市内地域資源の連携などが休止・廃止の方針となっているのはどういふことか。

観光商工課長 市単独では休止の方針だが、今後はこれらの事業はインバウンド機構に移行して進めていく。

委員 人材の発掘と連携に関して、市内で開催されるイベントの数はどの程度か。

観光商工課長 具体的には申し上げられないが、相当な数のイベントが開催されている。同類のイベントが別々の団体で行われていることは効率的とは言えないため、今後はスクラップも見据えながら、各団体が連携できる仕組みづくりも行っていきたい。

委員 イベントの実施については、同じようなメンバーで企画・実行しているものが多いため、人材育成に注力して後継者を育ててほしい。

観光商工課長 人材育成についても広域連携で推進していきたい。

会長 観光入込客数が伸びているのにオンパク参加者数が減っているのはなぜか。

観光商工課長 オンパクの企画内容によって参加可能人数が限られるものがあるためである。

会長 本日予定の案件はすべて終了した。以上で、本日の会議を終了させていただく。

事務局 事務連絡1（次回会議の件（1月13日（金））。事務連絡2（委員謝礼の件）。

（16:45閉会）